



まちづくりの目標ととりくみ！

亀井小学校区
まちづくり協議会

目標 5 町会加入を促進し、将来の地域の担い手をはぐくむまち



亀井小学校区は、以前は亀井村、龍華村と呼ばれていたが、戦前、戦後は農業と繊維関係の産業が栄え、その後は、養鶏場が多く見られるようになった。現在では、校区北側にある JR 久宝寺駅が主要駅となり、その周辺には高層マンション、スーパーマーケット、病院、スポーツ施設等が建設されたことで、様々な世代の多くの人たちが、このまち周辺を行き交うようになった。龍華町西公園や龍華町東公園、北亀井町公園、亀井公園、跡部本町公園、太子堂公園等では、こども連れの親子の姿が見られ、明るい笑い声、走り回るこども達の姿もよく見受けられます。その様な光景を見ると、幸福なまちだと実感しています。

こども達と楽しく参加できる行事、地域フェスタ、昔遊び、市民スポーツ祭等々、また、こども会でもいろいろな行事を実施しています。交通問題や防犯・防災対策、安全な通学路、環境整備、マナー向上に力をそそぎ、そして住民懇談会等の話し合いの場に、今後一人でも多くの若い地域の住民の方々に参加していただき、町会への加入を促進して、将来の地域の担い手をはぐくむまちづくりをめざします。

主なとりくみ

- ① 新しい住宅、マンションの若い世代の方々に、まちづくり活動への参加をしやすいことに努力をする。
- ② 防犯灯などを多く増やし、さらに町内をすみずみまで明るくして、安全なまちづくりをしていく。
- ③ 地域住民どうしの「和」を大切にし、近未来に発生が予想される巨大地震などの発生時に、いち早く地域住民が力を出し合い助けあっていく。
- ④ こども同士、親同士が仲良くなり、各種行事に多く参加してもらうために、町会やこども会への加入を促進する。
- ⑤ 犬の糞の放置・空き缶のポイ捨て・ゴミの不法投棄など、美観を損なわないように地域住民のマナー向上をはかり、いつまでも住み続けたいまちの実現をめざす。



啓発用ポスターの作成

まちづくり協議会全体のとりくみ

平成 25 年 2 月のまちづくり協議会が発足した後は、八尾市のまちづくり支援事業を有効活用して、地域の課題解決や発展に様々なとりくみを行ってきました。

★ 安全・安心へのとりくみ ★

- ・青色防犯パトロール
- ・防犯カメラの設置
- ・無線機の設置
- ・防災資機材の配備
- ・啓発用ポスター、のぼりの作成 などなど



青色防犯パトロール



防災訓練

★ 地域福祉へのとりくみ ★

- ・地域フェスタ
- ・ふれあい喫茶
- ・声かけ運動
- ・市民スポーツ祭 などなど



地域フェスタ



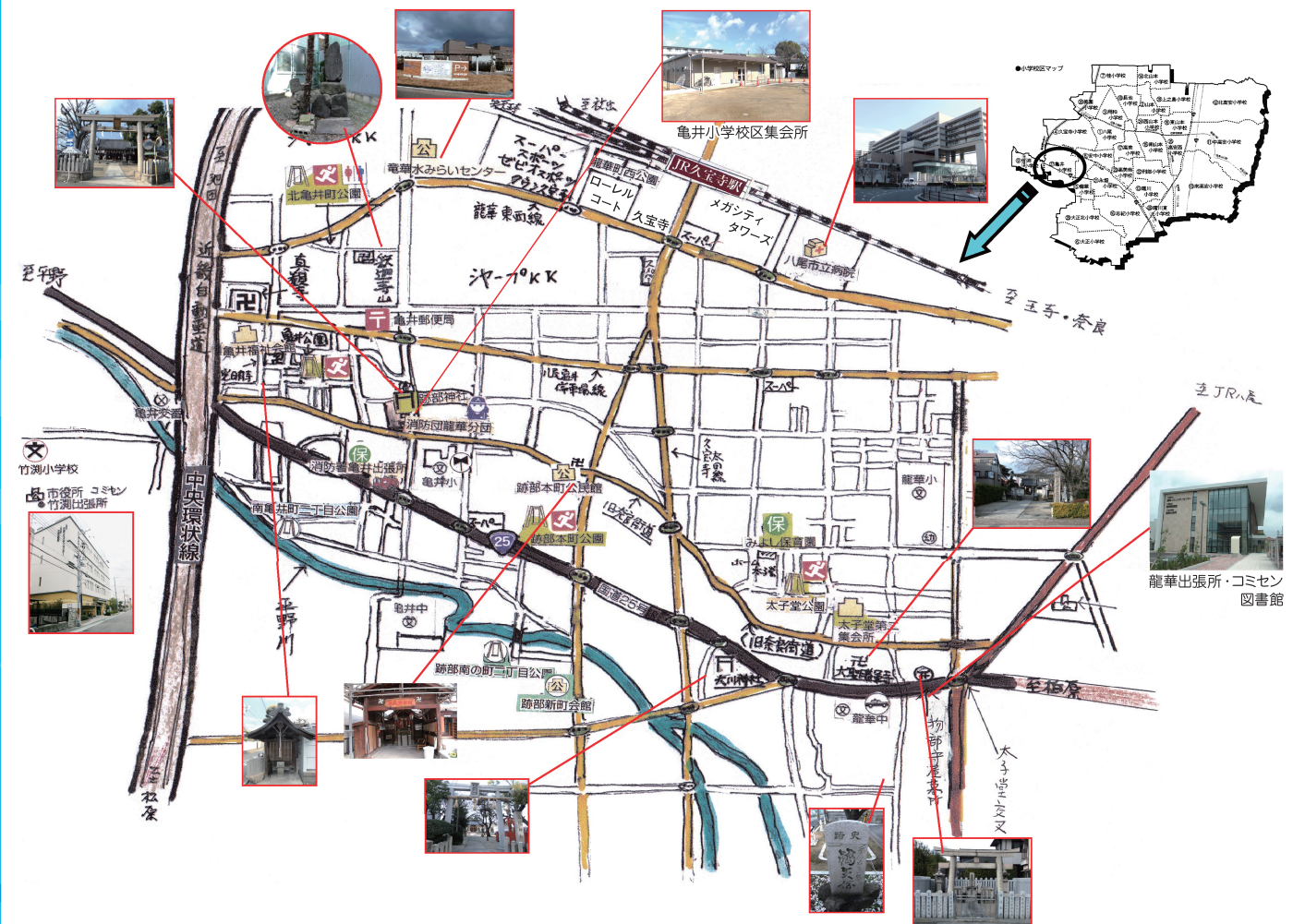
ふれあい喫茶

亀井小学校区
まちづくり協議会

亀井小学校区 わがまち推進計画

(第 3 期：令和 5 年度～ 10 年度)

地域の課題を解決し、良いところをもっとのばしていくために、平成 25 年 2 月に「亀井小学校区まちづくり協議会」が発足し、皆さまのご協力のもと第 2 期わがまち推進計画を作成しさまざまな事業を行ってきました。これらの活動を継続し今後の課題取り組みを地域の皆さまからのご意見やご提案をもとに『第 3 期わがまち推進計画』を作成しましたので、皆さまにお届けいたします。



亀井小学校区まちづくり協議会



まちづくりの目標ととりくみ！



目標 1 「久宝寺駅南側を中心とした新しいまち」と「歴史のあるまち」を再確認して大切に する。いつまでも住み続けたいまち

亀井小学校区は八尾市の西側に位置し、校区の北側には新しい JR 久宝寺駅が完成して、駅周辺は再開発され八尾市の新都市として発展する位置にあります。

JR おおさか東線は久宝寺駅を始発とし、新幹線の新大阪駅に行けて、途中は奈良を結ぶ近鉄の奈良線、奈良・三重県を結ぶ近鉄大阪線、生駒を結ぶ Osaka Metro の生駒線、北河内を走る JR 学研都市線に乗り換えできます。また天王寺駅を経由して大阪駅や JR 難波駅にも直結する大和路線の快速電車停車駅として、交通の利便性が高く JR 久宝寺駅周辺の開発が進み、大規模高層マンション建ち、スーパーマーケットが数軒、商業施設、スポーツ施設また市立病院、金融機関、各種専門の医院が多く開業するなど、人口の増加と共に周辺住民の利便性がよくなりました。

また、校区内には旧奈良街道があって亀井・跡部・太子堂と経由しており、その周辺には多くの遺跡、史跡や神社仏閣が点在しております。物部守屋の墓所、大聖將軍寺、真観寺、釈迦寺山、神社では跡部神社、大川神社が鎮社して、飛鳥時代において蘇我馬子や聖徳太子らによって滅ぼされた物部守屋の別業（別荘）があったところと言われています。また、戦国時代には数々の武将たちの戦場、歴史書でも古戦場も亀井・跡部地区で戦いがあったと記載されて「大坂」「奈良」を結ぶ奈良街道が作戦上重要な地域で有りました。



わがまちの歴史本

主なとりくみ

「JR 久宝寺駅南側を中心とした新しいまち」「歴史のあるまち」を再確認して、大切にする「いつまでも住み続けたいまち」づくりに努める。「由来のある歴史の道しるべ」学び、史跡散策や歴史マップの保管作業を実施する。永久保存版・「わがまちの歴史散策 IN かめい」の冊子を 3000 部完成⇒配布しています。



目標 2 みんなが安全安心にらせるまち



亀井小学校区は古い街並みと旧奈良街道を残しつつ JR 久宝寺駅を基点として新しい街に生まれ変わろうとしています。

田畑や工場、旧家跡地が住宅として生まれ変わり児童数も増加しています。それに伴い、交通問題、防犯、防災対策にも幅広い対策が求められる。校区内の通学路に関しても狭い道路が多く自動車の通行量も多く、通学児童の横をすり抜けていき又、時間制限区間の無視も見受けられる。

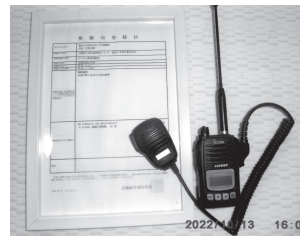
また、新旧生活者が入り混じった状態や高層住宅の居住状態により災害などによる影響も心配される。近い将来発生するであろう巨大地震に対して、如何に被害を軽減して安全に避難するか地域全体で諸問題について住民一体となって立ち向かうべきであり助け合う意識を持つ必要があります。

主なとりくみ

- ① 地域住民、特に子どもを交通事故から守るため、登下校時の見守りおよび子どもの連れ去り事案などに関しては青色パトロールカーを運用し、学校、公園、通学路など防犯活動を実施する。
- ② 火災及び犯罪発生抑止の意識向上を図るため、防火防犯パトロールへの積極的な参加呼びかけや、地域内住民が防火防犯活動への意識向上を図る。
- ③ 地域の防災対策として、ハード面では定期的な防災訓練の繰り返しにより、地域住民の防災に対する関心を深め防災知識、技術の向上に努める。
- ④ 災害時に於ける各地域との連絡体制は「デジタル簡易無線局 14 台」を総務省より認可されており十分利用する。
- ⑤ わが校区の避難所は「亀井小学校」を主に、場合により「亀井中学校」も指定される事がある。



青色防犯パトロール



防災資機材無線

目標 3 こどもたちの笑顔があふれ、健やかに育つまち



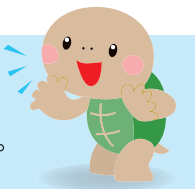
亀井小学校区においては、まちづくり協議会主催の地域フェスタ・敬老演芸大会・市民スポーツ祭、福祉委員会・竜亀地区青少年育成連絡協議会主催の行事、町会・自治会の単位子ども会主催の行事など、こどもたちが楽しく参加できる取り組みが年間を通して数多く開催されています。

しかし、こどもたちの登下校時における交通安全の問題、不審者によるこどもたちへの声かけ事案など解決すべき課題があります。

目標を達成するために地域全体で力を合わせて課題の克服をめざします。

主なとりくみ

- ① 登校時にこどもたちへの声かけをする。下校時に青バトによる見守り活動を行なう。
- ② こどもたちがたくさん参加できる地域フェスタ・敬老演芸大会・市民スポーツ祭を開催する。
- ③ こどもたちが参加する地域の諸団体の活動を支援する。



地域フェスタ



敬老演芸大会



市民スポーツ祭

目標 4 校区集会所を拠点として、世代間交流ができる地域活動が活発なまち



亀井小学校の西側道路に面して、北西にある亀井小学校区集会所が 2014 年に開所し、亀井小学校区まちづくり協議会の活動拠点となっております。

「地域フェスタ」「地域懇談会」「敬老演芸大会」「市民スポーツ祭」「防災避難訓練」が亀井小学校区まちづくり協議会の行事として開催しています。

従来亀井小学校内にありました「かめっ子ホール」が児童数の増加により使えなくなり新しく集会所がオープンしました。会議はもとより、様々な集会・イベントに利用していただけます。中央には桜の大木を囲んだ広場も活用し、高齢者と孫世代との「つながり」を更に深めて憩いと遊び場を共有できる場として使用していきます。



亀井小学校区集会所

主なとりくみ

- ① 健康づくり … 保健センターとタッグを組み推進する。
- ② 子育て広場 … 市の子育て支援課とタッグを組み活用・管理を行う。
- ③ 高齢者と子ども遊びの継承 … 社会福祉協議会との情報交換によるボランティアの参加を募る。
- ④ 誰もが参加できる交流サロンの開催や集いの場として、定期的な事業を遂行。

